

あいスポット プレス

市立武蔵野会館

2005年 創刊号

発行元：市立武蔵野会館運営協議会
責任者：座間康臣
事務局：市役所生活コミュニティ課
042-544-5111

CONTENTS

p1. 市長挨拶
p2. 協議会会長挨拶
事業計画・役員紹介

P3. 協議会設立経緯
P4. 利用のルール
お知らせ・お願い
編集後記

平成17年10月18日開館しました

市立武蔵野会館開館

文化・コミュニティ活動の拠点として、子供から高齢の方まで幅広く利用できる施設、「武蔵野会館」が、晴れやかにそして堂々と開館の運びとなりました。

市長挨拶

会報創刊号の発刊にあたって

「武蔵野会館運営協議会」の設立と、それに続く会報創刊号の発行、誠におめでとうございます。

先の十月、この地域の皆さんにとって待望久しい武蔵野会館が開館いたしました。この会館建設にあたっては、当初から地域の皆さんには積極的にご意見・ご要望を寄せていただき、地元地域の皆さんと市が一緒になって「いい会館づくり」を目指してきました。その結果、このようになすばらしい会館を建設することができました。心から感謝申し上げる次第です。

会館建設にはたいへんなご協力をいただいたわけですが、こうした会

館建設への参加を通して、地域団体の連携の輪が広がってきたと存じております。それぞれの団体が会館建設に出した要望を地元の要望として取りまとめたことから始まり、その後、市のコミュニティ・モデル地区事業として、会館の運営について地域ぐるみで検討を進めることを通して、地域における連携・協力の体制を築いていただきました。そして、協議会の設立へと漕ぎつけていただきました。皆さんのはじめとする関係各位のご努力に対し、心から敬意を表します。

市では、総合基本計画において、コミュニティの推進を掲げ、市民の皆さんが連携・協力しながら自主的に街づくりに取り組む新たなコミュニティの形成を目指してまいります。今後は、この武蔵野会館を地域活動の拠点として大いに活用して、地域の皆さんが連携・協力して住みよい街づくりに向けた活動を、よりいっそう進めていただければ幸いに存じます。

終わりに、「武蔵野会館運営協議会」のますますのご発展と、地域の皆様のご多幸を祈念いたしまして、会報創刊号発行にあたってのご挨拶いたします。

昭島市長
北川 穰 一



会長挨拶

協議会設立にむけての準備活動を進めてまいりましたが、十一月三日構成メンバー（会員）五一名、来賓二四名（市長、助役ほか）の出席を得て協議会設立総会が開催され、議案すべてが原案どおり承認可決、協議会がスタートいたしました。

この会館の特徴はなんといっても今までの会館にはなかった、地域活動（コミュニティ活動）拠点としての役割りを新しくもてたこと、またそのために一部の管理運営を協議会が担うこととなったことです。

今後地域の多くの団体の協力と住民の持つさまざまな知識や技術を持ち寄る場として会館での活動を活性化させながら、運営の乗軌化に努めるとともに、この協議会が着実に前進し自主的な地域課題解決能力を高め、新しいまちづくりへと繋がることを願っています。

あいすポットプレス（会館便り）第1号を発刊するにあたり議案を掲載（一部省略）しますので、各構成団体会員の皆様には今後一層のご理解ご協力をお願いする次第です。

なお設立総会に先立って行われました、会館の「こけらおとし」には、学校の部として武蔵野小学校、つづじが丘南小学校、瑞雲中学校の児童・生徒の皆さん、シニアの部では昭文いきいきクラブ、日の出シルバークラブ、文化シニアクラブ（一部昭文の応援）の皆さんの出演協力を頂き、にぎやかに祝いすることができました。

また設立総会後の記念講演会「昭島の歴史と青梅線北の変貌―講師 遠藤博氏―」も、地域活動を行う上で地域の事情を知ることができて有意義であったとの感想が多く寄せられました。

ともに設立総会に華を添えていただき、紙面をお借り致しましてあらためて厚く御礼申し上げます。

市立武蔵野会館運営協議会

会長 座間康臣

第3号議案

平成十七年度 事業計画

- 1、親しく利用し易い会館の管理運営を行います。
- 2、協議会運営を円滑に行うため事務局の整備を行います。
- 3、コミュニティの中心として交流事業や「会館祭り」の準備を行います。
- 4、地域の課題を検討し対応する専門部会設置を準備します。
- 5、その他協議会が必要とする事業を準備または行います。

● 事業計画についてのお願い

事業計画の具体的な内容は、役員会や理事会・全体会で今後議論してまいります。急いで取り掛かる課題として、事業計画2・4の事務局の整備充実と専門部会（委員会）の設置準備があります。

特に専門部会のうち、安全にかか

わる問題は最近社会問題化しています児童に係わる緊急の課題と受け止め、十二月一四日の全体会でもご意見を頂き、早急に実施に移したいと考えています。具体案が提示されましたら、各団体の会員皆様のご協力を頂きたいと思っております。

平成十七年度

役員紹介

会長	座間 康臣
副会長	丹羽 勝吉
	小野 正敏
	多良 芳幸（会計兼務）
会計	大槻 修久
総務	高松 勉
	高木 繁雄
監事	川島 久義
	松田 隆雄
顧問	古賀 靖男

協議会設立について

(設立総会 一号議案)

地域社会の変化

地域では都市化の進展、少子高齢化、核家族化、女性の社会進出、個人情報保護等、また価値観の多様化もあり、地域での人と人との結びつきや隣近所の絆の希薄化が見られます。このことは家庭での力の低下とともに地域での団体の組織率にも影響し、地域力の低下となつて現れています。一方安心面での高齢者ケア、子育て支援、安全にかかわる防犯、防災、交通といった課題は飛躍的に拡大し、また地域によつて課題も異なるようになってきました。

地域団体等の活動と連携

地方分権の動きは、住民の自主的な意識の芽生えや、より少ない予算で高い効率の行政運営を求めています。他方住民ニーズは多様化して、行政が一方的にサービスを提供するよりは地域と協働、あるいは任せられるほうがよりニーズに合った解決となることも考えられます。

地域には地域や地域の各層を支えて立派に活動している団体が多くあ

ります。例えば自治会、子ども会、

老人会、学校でのPTA、ウイズユースや安全面での防犯、防災、交通といった団体のほか、全市横断的な民生・児童委員やボランティア団体等福祉を支えるものまで数多くの団体が活動しています。しかし、これも縦割り行政のもとでの活動から、時には連絡不足や非効率となることもあります。従つてこれらの団体が連携して活動することにより①効率、効果的かつ機動的な活動へ②各団体の活動趣旨や活動内容が互いに理解され、各団体への加入増や協力等活性化に結びつく、など団体相互にメリットがあるほか、地域力向上も期待できるものと考えています。

(仮称) 市立武蔵野会館建設・

運営検討委員会のたちあげ

平成十四年十月新しい会館建設のための地域説明会が行われたのを契機に、建設計画への意見要望と、完成後の自主管理・自主運営を検討するため、地域の公共的な団体が連携して、「(仮称)市立武蔵野会館建設・運営検討委員会」をたちあげ、地域をあげて対応してきました。

昭島市のコミュニティ構想と

モデル地区事業のスタート

昭島市総合基本計画は新しいコミュニティの推進を掲げ、市民や団体からの声を反映させるべく、「コミュニティ推進委員会」さらに「コミュニティ構想策定委員会」を設置して答申を求め、最終的には「昭島市コミュニティ構想」を発表しました。その間市ではコミュニティモデル地区事業をすすめ、中神駅南地区で準備し、「あきしま・街づくり市民会議・ながみ」の誕生となりました。

中神駅北側の自治連、第15、20ブロックを区域とする、コミュニティモデル地区事業として、「(仮称)市立武蔵野会館建設・運営協議会準備会」の発足

昭島市コミュニティ構想では、コ

ミュニティ形成にむけての項で活動拠点を示し、その中で市立会館の活用をうたつています(コミュニティ区域ごとに、市立会館などの集会施設や学校施設を活用して協議会の活動拠点を設けます)。一方中神駅北側を区域とする地域団体が構成した「(仮称)市立武蔵野会館建設・運営検討委員会」は、建設に対する意見・要

望のほか開館後の管理運営について、地域活動拠点であることから自主管理・自主運営を希望していました。従つてその活動がコミュニティモデル地区事業に相応しいと相互に確認し、組織を「(仮称)市立武蔵野会館建設・運営協議会準備会」として、自主管理・自主運営のあり方を検討するとともに、協議会づくりの準備を進めてまいりました。

「市立武蔵野会館

運営協議会」設立

会館は3つの機能(団体等への貸館機能、市の出張所機能、地域の活動拠点機能)を持つてスタートすることとなりました。地域活動(コミュニティ活動)拠点としての位置付けから運営の一部を地域で担うため、準備会を発展的に協議会として設立発足することとしました。地域の多くの団体の協力と住民の持つさまざまな知識や技術を持ち寄る場として、この会館での活動を活発化させながら運営の乗軌化に努めるとともに、この協議会が自主的な地域課題解決能力を高めるために、着実な前進を図りたいと考えています。

地域の活動拠点として

とんとん利用し、地域の

連携の輪を広げましょう。

武蔵野会館の特徴的な役割りである地域活動（コミュニティ活動）拠点として次の2つをルール化しました。
積極的な利用をお願いします。

○ 優先使用ルール

（4ヶ月前の月の20日までに

協議会宛て申込）

●協議会が行う会議や行事等（会館祭り、総会、全体会、理事会、役員会など）

●協議会の構成団体が合同又は連携して行う会議や行事など（ブロック、同種団体の連携行事など）

●協議会の構成団体の全体運営に係わる会議や行事など（総会、全体会、役員会など）

●その他、協議会が必要と認める会議や行事など

○ コミュニティルーム

（学習室2 パソコン室）の

使用ルール

市・パソコングループ・協議会が話し合い、調整して地域活動のために優先使用する。10人程度の小会議室です。

パソコン室としての利用は、平日の利用区分①②④及び土曜日の利用区分①です。

それ以外はコミュニティルームとして使用します。

申込は協議会受付にある申込表に記入してください。

その他詳細は窓口で。

お知らせ

2階の公共スペースが

下足で使用できます

開館以来、2階は下足禁止としていましたが、不便さを一部解消するため十二月から階段・廊下・トイレ下足解禁を実施しています。

引き続ききれいな会館として利用するようご協力をお願いいたします。

自動販売機を設置しました

大型の自販機が設置され便利になりました。団体等の利用には領収書の発行（受付で）もできます。

なお販売益は協議会収入になりますので是非ご利用ください。

便利な印刷機も利用できます

団体の回覧や配布のための印刷が早く便利です。用紙を持参の上受付簿に記載の上ご利用ください。但し原紙一枚あたり20枚以下の印刷はできません。

お願い

年末大掃除にご協力ください

管理員の皆さんと一緒に次の要領で行いますので、ご協力いただけの方の応援をお願いいたします。

○日時 十二月二十九日（木）

九時～十一時三〇分

○清掃箇所 館内外全体、

○準備 清掃に適した服装等、

○その他 終了後にお蕎麦を提供いたします。

編集後記

早いもので、十月十八日の開館から二ヶ月がたちました。

あわただしい会館運営に追われながらも十一月三日には設立総会も開催いたしました。

議長に就任頂きましたむさしの自治会藤原会長さん書記メゾン自治会古屋さんの進行の下、活発な議論が行われ、正式に昭島市立武蔵野会館運営協議会として発足いたしました。

設立総会に先立ち、十一月三日午前中、柿落としに多くの方にご来場頂きました。会場として、二階第一・二・三集会室のパーティションを収納し一つの集会室として使用しました。平常は、3つの集会室として利用いただきますが、大きな集会室として、地域の皆様の交流の場として活用したいと思っております。（T）

昭島市立武蔵野会館

運営協議会

事務局

市役所生活コミュニティ課

TEL 042 (544) 5111